

令和4年度 第10回 理事会議事録

日時：令和4年2月28日（火）19:00～20:15

場所：Web会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林(司)、北山、井村

渡辺、鮎川、菊池、古屋、鈴木、大西、

平賀(篤)、有泉

(部長) 丸茂、秋山

(副部長) 平賀(満)

書記：笹本

会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数152

会員数937名 (施設877名 自宅60名)

磯野会長より挨拶

年度末となり皆様忙しい時期と思うが、その一方でコロナの方が少し落ち着いてきて、仕事自体は少しやりやすくなった所があるのではないかと。先月の理事会以降の動きとして、1月28日に関プロの士会長会議が長野で行われ、小林副会長と一緒に参加した。1月31日は日本理学療法士協会の会議で政策提言について説明があった。毎年自民党に政策提言を行っている。2月7日は山梨 JRAT と山梨県リハビリテーション支援センター合同で研修会、2月12日に山梨県理学療法士会学術集会を開催した。笛吹市の在宅医療介護連携推進会議があり、今年から県士会として参加することとなった。2月25日は専門職団体協議会でがんリハの研修会が市民公開講座と専門職研修が2本立てで行われた。また、日本理学療法士連盟の研修会も行われた。連盟との会議が3月2日に控えているので、進捗状況は理事会の中で報告したい。

I. 審議事項

1. リハマップ作成用アンケートについて：士会支部局士会支部の事業としてリハマップ作成が今年度承認されている。12月理事会の審議の意見を基に、区分を記載する項目や注意点の追記、加算算定項目をフリー記載に変更をした。再度審議をお願いしたい。

質問・意見

- ・マップを作成するためのアンケートであり、幅広く回収する意味では案の通りが良い。
- ・PTの情報共有としては良いが、転院の参考にする場合は、他職種の有無、人数の情報があると良い。→OT、STの人数記載は、事前にアンケート情報がどのように活用(転院先の検討)されるか周知すれば問題は無いのではないかと。
- ・アンケートを行う際は、鑑文・説明を付けて依頼する予定。その中でリハマップ作成の経緯、目的、

開示内容、閲覧予定者(市民向けではなく、リハビリ職)を明記すれば良いと思っているが、如何か。→OT士会、ST士会の事務局に対して、その旨を連絡すればどうか。

- ・部門長の氏名について、デイケアだとPT以外の場合がある。PT以外でも良いのか。また、OT・STの人数を記載すると、部門長の氏名に迷う方がいると思う。→支部活動の連絡窓口として誰に連絡をすれば良いのかを明確にしたい。PTのトップを記載。またはPT支部活動の連絡窓口者を記載して貰う。

結論

- ・OT、ST人数の設問を追加する。
- ・事務管理局がOT士会、ST士会の事務局にリハマップ作成用アンケートについて伝える。

2. 公開講座に代わるフレイル予防チラシに関して：企画局

チラシの内容は、協会のハンドブックから引用し、デザインした。印刷コストが高く、当初見込んでいた枚数の配布が困難であり、用紙サイズ・枚数について審議をお願いしたい。用紙サイズは小さくなると思いたくため、B4サイズを検討している。

質問、意見、補足

- ・A4よりもB4の方が見やすい。内容は問題ない。
- ・折り込み料金は1枚3.2円。東部富士五湖方面は4万8000世帯ほどいる。予算(70万円)を全て使用すると最大約6万枚配布可能で66万8000円ほどとなる。費用対効果を評価するのが難しい。→各家庭に1枚届き、目にとまると思うので、予算内で最大限の配布が良い。→元々そのために予算を組んでいるので、予算内であれば良い。高齢者や介護の方々などは地域にも多くおり、山梨県理学療法士会という形で直接目にとまるので実施して欲しい。
- ・日程が決まったら、士会員にもアナウンスをした方が良い。
- ・チラシの権利は、自由に使用することが出来る。例えば、自由に印刷をして市町村に置くことも可能。
- ・紙質によって単価が変わるが、安い方の紙質で6万枚注文する予定。
- ・今後、同じ会社に依頼すれば紙代、印刷代のみで増刷は可能。

結論

- ・内容は案の通りとする。用紙サイズはB4サイズ。
- ・予算内で最大限配布する。
- ・現状3月18日(土)の予定。確定したら、士会員へ一斉メールをする。

3. 「会員の県士会に対する意識調査(仮)」に関して：企画局

50周年、コロナ禍の中今年度行う予定だったが、次年度実施する予定でいる。県士会全体の運営・事業に対する意識を調査して、よりよい県士会運営に繋げ、県士会員へ還元していく機会としたい。各部局や各委員会で調査して欲しい内容・意見を伺い実施する予定。ご意見をいただきたい。

質問・意見

- ・質問内容については、確認した上で何かあれば局長へ伝える。また、若い方々の意見を反映させたいのであれば、若手が回答できる仕組みを考えていく必要がある。→以前、WEBで調査を行ったことがあるが、紙と比べて回答率が違うので検討していきたい。

結論

- ・調査は次年度に実施。
- ・アンケート内容について、意見は直接メール等で局長へ伝える。各委員長へは事務局長から連絡をする。4月の理事会までに確認作業を終える方針で進める。

II. 報告事項

1. 各委員会等の報告

・表彰委員会

協会名誉会員について、2月に協会から該当者の問いかけがあった。新しい会員管理システムでは推薦できる条件の検索をかけられる。その結果、谷村監事が該当。過日推薦書を提出した。

・認知症対策委員会

令和4年度認知症対策委員会研修会について、2月8日にOT森先生(甲州リハビリテーション病院)を講師に「認知症を考える」をテーマにした研修会を開催した。参加者は44名であった。

・特別支援教育委員会

研修会の報告について、1月31日に研修会を行った。今週末の委員会で詳細な報告があるので、3月の理事会で報告をしたい。

2. 第25回山梨県理学療法士会学術集会の報告事項について：学術大会局

2月12日にWeb開催で開催。120名の参加があった。アーカイブ配信は2月28日まで特別講演、教育講演を士会員対象にYoutube限定で公開した。事前に視聴用のURLを士会員に一斉送信メールを実施したが、メール登録されていない士会員からの問い合わせが当日あった。

3. スポーツPT部報告について：社会局

①第75回スポーツ理学療法勉強会について、2月18日に江玉先生(新潟医療福祉大学)を講師に「関節の機能解剖とリハビリテーションの実際」をテーマに開催した。参加者は46名であった。

②国際テニス大会について、来年度山梨で大会を開

催するため人員の依頼があった。1大会は概ね1週間ほどで11大会あり、人員は1日1~2名必要。日程や部員の人員を考慮し、2大会(7月と11月)に対応する方向で対応を検討中。

4. 2022年度第4回学術研修会開催報告について：学術研修局

2月5日に鈴木先生(関西医療大学)を講師に「体幹機能評価と運動療法」をテーマにした研修会をWEB開催した。81名の参加があった。

III. 事務管理局より(有泉局長)

①今後の予定について

- ・3月は、28日理事会、31日にR4年度の事業および会計のメ日。またR5年度の事業(案)の締め切りは27日、予算(案)の締め切りは31日とする。報告場所は、事業報告は総務部、決算報告は財務部へ事業および会計終了後速やかにお願したい。
- ・4月は、25日理事会と年度末報告理事会了承。
- ・5月は、上中旬に年度末監査、23日に理事会と年度末監査報告、総会資料承認。
- ・6月は中旬に総会、27日拡大理事会の予定。

②メール配信について

運用の確認で個別の通知が必要となる要件では当面行わないようにして欲しい。あくまでもこちらからの一方通行のやり取りとする。

③当士会名誉会員について

規定の作成する予定。当士会にも「正会員」「協賛会員」「名誉会員」の3つの会員がある。定款による名誉会員は「当士会に多大な功績のあった者」とだけあり「多大な功績」の基準が決まっていない。

④懲戒委員の推薦について

立候補された平賀局長を推薦する方向でいる。協会の立候補締め切りが3月31日。それまでに立候補があった場合は調整をする。

⑤グーグルドライブについて

試験的に予算案の資料をグーグルドライブで送付したが、ご意見を伺いたい。

意見

- ・閲覧権限のみで編集権限がなかった。
→設定を変更する。

V. 次回の理事会日程について

日時 令和5年3月28日(火) 19:00~

場所 Web会議

連絡 3月24日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。